

リヴィエ会だより

発行日 2021. 7. 1



理事長就任のあいさつ

理事長 ^{たか} ^{ばたけ} ^{まさ} ^{ゆき}
高 畠 政 行 神父

2020年度は世界中がコロナウイルスの猛威に襲われ、経済だけでなく私たちの日常生活も停滞してしまった感があります。しかしながら、そんな時の流れの中においても、子どもたちは精一杯日々成長し続けています。

さて、私はそんな混乱の中、どさくさに紛れて、2020年4月1日付で学校法人賢明学院の理事長に就任いたしました。前理事長の中西美繪シスターが理事長に就任された2007年に私も賢明学院の理事となり、力不足ではありますが賢明学院と共に歩んでまいりました。現在、カトリック大阪大司教区の教区司祭として堺教会に派遣され、泉北・金剛・橋本教会の司牧チームの一員です。教会で働く教区司祭の私に聖母奉献会のシスターたちが理事長職を委ねられたのは、賢明学院がこれからもカトリックのミッションスクールとして在続するための苦渋の決断だったと思います。勿論、常勤として働くことはできませんが、聖母奉献会のシスターたちが堺の地に灯して下さった「愛の炎」を燃やし続け、皆さんと力を合わせて賢明学院が発展し続けるための道具となればと思っています。

『朝がくると』 まどみちお作
朝がくると とび起きて ぼくが作ったものでもない
水道で 顔をあらうと ぼくが作ったものでもない
洋服を きて ぼくが作ったものでもない
ごはんを むしゃむしゃたべる
それから ぼくが作ったものでもない
本やノートを ぼくが作ったものでもない
ランドセルに つめて

さて ぼくが作ったものでもない
靴を はくと たったか たったか でかけていく
ぼくが作ったものでもない 道路を

ぼくが作ったものでもない 学校へと
ああ なんのために

いまに おとなになったら
ぼくだって ぼくだって
なにかを 作ることが
できるように なるために

これは『ぞうさん』『一年生になったら』『やぎさん ゆうびん』等の童謡の作詞家である、まどみちおさんの詩です。104歳の生涯を通して子どもの視点に立ち、子どもたちに温かい眼差しを向け続けた方でした。

子どもたちはいつも善くなりたくて仕方のない存在であり、「光の子」として生まれて来た存在です。しかし残念ながら、大人のそして社会の価値観によって歪められ、輝きが曇っていくのです。学校に行って学ぶ目的は自分の幸せだけを得るためだけでなく、この世界に生きる多くの人がおかれている状況を知り、それらを心の中に納め、その人びとを助け、奉仕し、共に生きる術を得るためです。賢明学院はミッションスクールとして、そのことを子どもたちに伝えるために存在し続けるのです。私たちは今後も「祈り・学び・奉仕する」という校訓を子どもたちにしっかりと伝え、彼らを社会へと派遣していきたいと思っています。どうぞ今後もリヴィエ会会員の皆さまのより一層の応援を宜しくお願いいたします。



再会を感謝!

シスター 秋 田 みよ子



リヴィエ会のみなさま “すっかりご無沙汰しています。” “初めまして!”

二つの挨拶をさせていただくことは賢明学院の歴史の重みを感じさせられます。私は昨年、十数年ぶりに再び堺に異動してまいりました。修室の窓を開ければ、最初の担任クラスM1Bの教室が真前にあり、一人ひとりを懐かしく思い出しています。また聞こえてくる朝礼の聖歌、一分間の沈黙等、みなさまと共に過ごさせていただいた日々を感謝しています。さらに、同窓会を「リヴィエ会」と称し創立者の精神を尊び、親しんでくださっていることにも感謝しています。

さて、去年はベートーベン生誕250年が世界的に祝われたことは記憶に新しいところです。ちなみに2年前、2018年はマリー・リヴィエ

エ生誕250年でした。そして今年、2021年11月21日にはマリー・リヴィエが創立した聖母奉献修道会が創立225周年を迎えます。フランス革命の最中、教育を受けられない子供たちの状況を憂い、「子供こそ、世界を刷新する力を持っている。一国の救いは子供の教育にかかっている」との強い信念のもとにマリー・リヴィエは革命軍に迫害されながら修道会を創立し、「わたしたちの仕事は心の仕事です。子供たちにイエス・キリストを知らせ、愛させたい」と子供たちを集めて青少年教育を始めました。「子供の教育の大切さ」は今、私たちが直面している「新型コロナウイルス感染拡大」の社会においても痛感するところだと思います。

リヴィエ会のみなさま、困難で不自由な社会情勢の中にあっても、「賢明の精神」を育み、互いに一条の光、世の光となっていかれませう、真理の源である神の祝福をお祈りしています。



リヴィエ会会長 比嘉 泰江

リヴィエ会会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルスによって社会生活に様々な影響が及び、感染拡大の終息に見通しがたない状況下、不安の中におられる方々に対して心からお見舞い申し上げます。また、医療従事者の方や生活を支えるために一年以上緊張感を持って動き続けて下さっている方々に心から感謝申し上げます、一日も早い終息を願ってやみません。

2020年度のリヴィエ会活動は規模の縮小や中止を余儀なくされる事が多く、会員の皆様のご協力と先生方のご支援をいただきながら何とか終えることが出来ましたこと、リヴィエ会役員ともども感謝致しております。

残念ながら新成人お祝いの集いが中止となってしまった48期の皆様、お祝いのカードと記念品は無事皆様のお手元に届きましたでしょうか。今後学年幹事の方を中心として同期会を計画される機会がありましたら、リヴィエ会として協力させていただけることもあるかと思っておりますので是非お知らせ下さい。

2月25日の入会式では全日制・通信制合わせて207名の2020年度卒業生(50期生)を会員として新たに迎えることができ、1期から教えて全体で6,445名となりました。

「母校は元気です」

リヴィエ会会員の皆様、平素から母校の教育活動にご理解、ご協力を賜り、心から感謝いたします。

この1年は新型コロナウイルスに翻弄される日々でした。4月、入学式は行えましたが始業式は中止し、休業が始まる前に分散登校でその間の学習に対する準備をしました。本校は全員がタブレットを持っていますが、新1年生にもこの時に渡すことができました。そのおかげで、4月13日から高2高3で試験的に始めたオンライン授業を、5月11日からは全学年で実施することができました。その学校の教育力が問われる中でどこよりも早くオンライン授業が実施できたのは、10年間のICT教育の成果が発揮されたと言えます。その授業アンケートを見ると、不具合がなかったわけではありせんし、対面授業が一番という声が多かったですが、評価する感想も沢山ありました。先生方に聞くと、対面授業より準備に時間がかかるという先生が結構いました。それでも非常勤の先生も含め、生徒のためにみんなで取り組みました。

残念だったのは、ほとんどの学校行事を中止せざるを得なかったことです。4月新入生のHR合宿から始まり、校外学習、聖母月の集い、体育大会、秋麗祭と生徒たちの学校生活を彩る行事が実施できませんでした。2学期の後半も例年とは形を変えてできないかと準備した創立記念ミサや、生徒の力の結集で毎年大きな感動が生まれるクリスマスブローも第3波のために断念しました。かろうじて、全日制も通信制も高2が研修旅行に行けたのが救いです。それと卒業証書授与式や入学式などの式典が挙行できたことも幸いでした。

コロナ禍の中で細心の注意を払っても乗り切れないものがある中、生徒



英語科教諭・リヴィエ会担当 市場 貴志

リヴィエ会の会員の皆様、今年度も担当させていただきます。市場貴志でございます。普段はリヴィエ会の活動にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございます。

また、昨年度は新型コロナウイルスの影響で本校もいろいろな影響を受け、その中でもいろいろな面で皆様に支えていただき、本当にありがとうございました。

さて、本校は共学化して10年が経過し、男子のリヴィエ会会員も徐々に増えてきており、心より嬉しく思っております。

共学化10年の節目で関西学院大学との提携など、また新しい時代がスタートしたと考えております。共学化する際に、「女子に教えてきたことを男子にも」というテーマで、いろいろな面を取り組んでまいりました。これからも多様な変化があると思いますが、常に変わらない建学の精神を念頭におき、リヴィエ会会員である卒業生の皆様が気軽に立ち寄れる場所、立ち寄りたい場所であり続けられるよう、努力していきたいと考えております。今後とも、お力添えの程、よろしく願いいたします。

最後になりましたが、コロナ禍で多くのことが制限されるご時世ではございますが、リヴィエ会会員の皆様のご健康とご活躍をお祈りいたします。

共学化から10年

2010年の共学化から10年がたち、共学化後の会員数が全体の約4分の1にまで増えてきています。昨年度に引き続き新しい活動を模索し、より多くの方にリヴィエ会活動に参加していただけるものにしていく方向で準備し動いていきたいと考えています。

今年度も新型コロナウイルスが学院の年間スケジュールにどのような影響を与えるのかもわからない状況で、活動の詳細は未定なことが多いですが、決まり次第学院ホームページのリヴィエ会ブログにお知らせ記事を載せますので、是非覗いていただければと思います。

皆様からリヴィエ会に対してご意見や要望などがありましたら是非お聞かせ下さい。皆様からの貴重なご意見を活動に反映させ努力していきたいと思っております。今年度もリヴィエ会へのご支援・ご協力そして活動へのご参加賜りますようお願い申し上げます。

また、私たちと共にリヴィエ会役員の活動をしていただける新役員を募集しています。一人では…と思われる方も同期・友人複数名で構いません。役員の仕事も年々負担軽減できる工夫をしておりますので、興味関心のある方、ご協力いただける方は是非Gmailまでご連絡のほどよろしくお願い致します。

リヴィエ会会員の皆様はじめ、会員のご家族・関係者の皆様、くれぐれもご自愛下さい。

受け継がれる賢明の精神

賢明学院中学高等学校校長 大原 正義



や先生方の工夫と努力で実現した行事もありました。体育大会の華と書いていい高3の「集団行動」は、夏休みにグラウンドで実施しました。コーラスコンクールで披露する予定だった中2中3のパフォーマンスは、10月に「コーラスフェスティバル」で発表されました。また、秋麗祭の中止で発表の場がなくなった文化系クラブは、「合同発表会」を開きました。これらの行事には保護者の皆様も来てくださり、温かい声援を送ってくださいました。さらに、創立記念日の「一日静修」とタブローの代わりとなった「クリスマス祈りの集い」は各教室に映像を配信するという画期的な試みを成功させました。設備が充分でない中、協力して困難を乗り越えれば、考えてもいない結果を生み出すことを経験しました。その意味では、3月の「賢明オリンピック」も象徴的な催しになりました。生徒会が主催で中学生が手作りの大会を成功させました。競技の内容も普段の体育大会とは違う工夫されたものでした。

こうして1年を振り返ると、確かにコロナ禍のために皆が苦しい思いをしましたが、それにへこたれず感染防止のための最大限の努力を続けながら、新しい扉がいくつも開いたように思います。誰もが体験しなかった日々を乗り切れたのは生徒や教職員の努力ですが、ただ耐えるだけの毎日ではなく「創造的」でもありました。ですから、リヴィエ会の皆様にも、「母校は元気です」とお伝えしたいです。



教職員リヴィエ会担当 高屋 有須

賢明学院中学高等学校では、現在56期生(新中1)を迎え、マリー・リヴィエの教えや言葉は脈々と受け継がれております。

さて私は賢明学院24期卒業生で、多感な時期を学院で過ごしました。教員として母校に戻り、9年目を迎えました。

昨年、シスター中西が姫路へ戻られて、大変寂しく思っておりますが、同年4月にはシスター秋田が堺に来られ、他のシスター方と共に元気に過ごされていることは大変嬉しく思います。

今尚、豊島先生(入試広報部顧問)・藤本先生・寺本先生・矢澤先生はご活躍ですし、私の同級生や先輩・後輩の御子息御令嬢も多数在学されており、様々な喜びのなか教鞭をとらせて頂いております。教え子達が同窓生となり、若いリヴィエ会会員が増えることは毎年楽しみに1つです。

コロナ禍での生活が1年以上となり、リヴィエ会の活動も中止が続いています。一刻も早い終息を祈るばかりです。

教職員リヴィエ会担当として、会の活動をサポートし、皆様にとってより身近なものとなるよう、工夫を凝らしてまいります。

末筆ですが、近くまでお越しの際は、是非お気軽にお立ち寄り下さいませ。

受け継がれる賢明の精神